

パリ・コムン100年を記念して

パリ・コムンの教訓と現代プロレタリアートの任務



第31号
本号2頁
定価20円

発行所
怒濤社
東京都千代田区
本町三丁目1番1号
電話 03-3541-1134
郵政振替 14-14
郵便番号 100-0014

プロレタリア世界革命の旗の下、
万国の労働者団結せよ、
労働者共産主義委員会

I、プロレタリア革命の暴力性

プロレタリア革命は暴力革命である。これは、ブルジョア革命と根本的に異なる。ブルジョア革命は、ブルジョア階級が封建地主階級を打ち倒すために進んだもので、最終的にはブルジョア階級が権力を握り、資本主義社会を築いた。一方、プロレタリア革命は、プロレタリア階級がブルジョア階級を打ち倒すために進んだもので、最終的にはプロレタリア階級が権力を握り、社会主義社会を築く。この革命は、暴力を伴うものである。なぜなら、ブルジョア階級は、プロレタリア階級の革命要求を聞き入れず、むしろそれを鎮圧しようとするからである。したがって、プロレタリア階級は、自己防衛のために暴力を行使しなければならない。これは、歴史的に証明された事実である。

3・17集会 基調報告

世界ソヴィエト共和国樹立・日帝打倒・
米軍政打倒へむけ前進せよ！
労共委中央委員会

III、プロレタリア解放とプロレタリア国際主義

プロレタリア解放とプロレタリア国際主義は、不可分割なものである。プロレタリア階級の解放は、単に自国の労働者を解放するだけでは不十分である。なぜなら、資本主義は国際的なものであるから、プロレタリア階級の解放は、国際的な闘争を通じてのみ達成可能である。したがって、プロレタリア階級は、自国の労働者だけでなく、世界の労働者とも団結し、国際的な革命闘争を推進しなければならない。これは、プロレタリア国際主義の原則である。

IV、社会愛国主義、戦闘的経済主義を粉碎し、プロレタリア革命へ前進せよ！

社会愛国主義と戦闘的経済主義は、プロレタリア革命の前進を妨げる危険なイデオロギイである。社会愛国主義は、自国の利益を至上とし、国際的な団結を否定する。戦闘的経済主義は、労働者の闘争を経済的闘争に限定し、政治的闘争を放棄させる。これらは、ブルジョア階級の利益を守るためのイデオロギイである。したがって、プロレタリア階級は、これらを徹底的に批判し、社会愛国主義と戦闘的経済主義を粉碎し、プロレタリア革命へ前進しなければならない。

II、プロレタリア独裁と労働者階級の解放

プロレタリア独裁は、労働者階級の解放のための必要手段である。ブルジョア階級は、労働者階級の解放を許さず、むしろそれを鎮圧しようとする。したがって、労働者階級は、自己防衛のために独裁を樹立しなければならない。これは、歴史的に証明された事実である。プロレタリア独裁は、労働者階級の利益を守るための手段であり、労働者階級の解放のための必要手段である。

反対同盟、地下要塞で闘争を堅持

反対同盟と地下要塞は、プロレタリア革命の堅持のための重要な手段である。ブルジョア階級は、労働者階級の革命闘争を鎮圧しようとする。したがって、労働者階級は、反対同盟と地下要塞を組織し、革命闘争を堅持しなければならない。これは、歴史的に証明された事実である。反対同盟と地下要塞は、労働者階級の利益を守るための手段であり、労働者階級の解放のための必要手段である。

個別闘争主義を克服し、政治闘争の強化を！

個別闘争主義は、プロレタリア革命の前進を妨げる危険なイデオロギイである。個別闘争主義は、労働者の闘争を個別の経済的闘争に限定し、政治的闘争を放棄させる。これは、ブルジョア階級の利益を守るためのイデオロギイである。したがって、労働者階級は、個別闘争主義を克服し、政治的闘争を強化しなければならない。

共産主義革命
労共委理論機関誌
創刊号発売中！

